

# 後援会だより

「子どもの母校は我が母校」  
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

## 首都圏父母懇談会報告 市ヶ谷キャンパス



副実行委員長 千葉千代子 (美珠希 / 法学部)

10月11日(日)、朝からの雨も午後には上がり、700人を超える保護者の皆さまをお迎えして、市ヶ谷キャンパス・首都圏父母懇談会が開催されました。

田中優子総長の講演「世界のどこでも生き抜く力」は大変人気で、事前に多数の申し込みがあり、薩埵ホールに可動式のシートを増設して対応するほどでした。総長からは、法政大学がスーパーグローバル大学創生支援(SGU)に採択され、持続可能な地球社会の構築に貢献する大学を目指していくという展望と、多様性の中で主体的に考え、自ら切り開いていく力について、活躍している卒業生の紹介を交えながら、教授されました。今後、さまざまな分野で活躍する学生が輩出される期待が高まります。

田中総長講演



続いて、学生生活や就職活動の現況について、小須田博司卒業生・後援会連携室部長、栗山豊太キャリアセンター市ヶ谷事務課主任より説明がありました。

学生スタッフによる「キャンパスツアー」、漫画研究会による「似顔絵サービス」は毎年好評の催しです。スカイホールで開催された、学生サークルのニューオレンジスウィングオーケストラによるミニコンサートでは5曲を好演。58年館第一食堂のランチ体験も盛況で、ポアソナード・タワー・フォレストガーデンのランチは完売となりました。学部・学科別懇談会では、学部長や担当の先生から学校生活の説明があり、質疑にもお答えいただきました。

ご指導、ご協力を賜りました大学教授の皆さま、関係の皆さまに心よりお礼申し上げます。

## 小金井キャンパス



副実行委員長 平山智子 (哲 / 理工学部)

10月18日(日)、小金井キャンパスにて首都圏父母懇談会が開催されました。今年「さあ、体験しよう! 未来の科学を!!」をテーマとして、午前中はキャンパス内を自由に見学していただきつつ、8研究室の見学や4学科の模擬授業が体験できるよう、初めて企画いたしました。参加された父母の中には、熱心にメモを取りながら、真剣に授業を受ける姿も見られました。

午後からの全体会では、八名和夫副学長より「世界のどこでも生き抜く力」と題した講演に続いて、パネルディスカッションが行われました。理工学部の川上忠重教授の司会のもと、大学院から佐藤勉教授、学部生、大学院生、キャリアセンター職員、そして保護者代表の5人がパネラーとして参加しました。理系学生の大学院進学の魅力やキャリアセンターの取り組み、就職活動など、父母の方々からの質疑応答を交えて、現役の学生の生の声を聞くことができた、大変有意義なパネルディスカッションでした。

その後、学科別説明会が行われ、最後に学生食堂で懇親会が開かれました。軽音学部「ウェスタンプレイボーイズ」の演奏を聴きつつ、先生方との話も弾んで、貴重な時間を過ごすことができました。

この日、首都圏父母懇談会に参加された父母の皆さま、ご協力いただきました教職員の皆さま、ありがとうございます。



パネルディスカッション

## 多摩キャンパス



副実行委員長 松岡孝幸 (翔吾 / 経済学部)

10月17日(土)、多摩キャンパスにて首都圏父母懇談会を開催しました。昨年に続き、無料循環バスでキャンパス内を自由に見学でき、バスに同乗した学生スタッフから施設の案内だけでなく、授業のこぼれ話なども交えた楽しい案内がありました。

社会学部・現代福祉学部のウォークツアーは、見学者が希望する時間と場所を考慮して学生スタッフが案内する趣向で、好評でした。スポーツ健康学部では最新鋭のトレーニング設備の見学や、普段は学生しか利用できない学食で食事もしました。図書館の見学では、職員の方が充実した設備を大変丁寧に案内してくれました。また今年度は、学生に人気の「現代福祉学部の焼きたてパン」が社会学部棟食堂にて販売され、大好評でした。

全体会では、今年度よりスケジュールが見直された就職活動の状況について、キャリアセンターの方から説明が

あり、その後、内定者から就活で困ったことや面接を乗り切るためのポイントなど参考になる話が聞けました。続いて行われた学部別懇談会は、大学関係者から各学部の特徴、成績通知表の見方や履修時のポイント、学生スタッフからキャンパスライフについて、分かりやすく説明していただきました。

懇親会では、来場者と大学関係者・学生と直接話げできたことで、より一層法政大学や学生生活への理解が深まったと感じました。最後に、ご来場の父母の皆さま、また協力のいただきました大学関係者、学生の皆さまに、この場を借りて御礼申し上げます。



学食体験

## 六大学野球応援を終えて



幹事 坂元真理子 (将也 / 現代福祉学部)

今年度は野球部創設100周年記念の年でしたが、残念ながら六大学野球の優勝は逃してしまいました。しかし、記念の年というプレッシャーの中で選手たちは全力で戦ってくれました。最終の明治大学戦では1回戦は落としたものの、2回戦と3回戦は連勝し、意地を見せてくれたと思います。

今年の野球部は1、2年生の出場機会が多く、若いチームという印象を受けました。また身体が細く、少し頼りなさげにも見える1年生が先輩に交ざってプレーしているのを見ると、先輩たちはさすがによく鍛錬しているなと感心します。それとともに、彼らが3、4年生となったとき、どんなチームに成長しているのか、今からとても楽しみです。

そして、選手たちと同じくらい頑張っているのが応援団です。今年度は彼らにとっても90周年の記念の年です。選手がミスをしてしまったときや、チャンスを生かせなかったときに、観客はどうしてもため息をついてしまいます。しかし、彼らは絶対にため息はつきません。すぐに「大丈夫」「切り替えていこう」と前向きな言葉を掛けるのです。その言葉には力があり、応援に行った私まで元気にしてくれます。そんな応援団の応援もしたいと思い、明治神宮野球場に行くのが楽しみになりました。

まだ観戦されたことのない方も、来春のリーグ戦には明治神宮野球場に足を運んでいただけたら幸いです。法政野球部ならびに応援団への応援をよろしくお願いたします。



まだ観戦されたことのない方も、来春のリーグ戦には明治神宮野球場に足を運んでいただけたら幸いです。法政野球部ならびに応援団への応援をよろしくお願いたします。



## 支部野球応援・キャンパス見学報告 青森県支部



青森県支部長 齋藤 聡 (真澄 / 経営学部)

天候にも恵まれた10月10日(土)、青森県支部では2年に1度の野球応援とキャンパス見学を実施しました。今回は東京六大学野球秋季リーグ対立教大戦を応援するため、12家族、子どもも含めた24人が明治神宮野球場前に集合し、みんなで法政カラーのジャンパーを着て「母校」の応援席に座りました。



法政大学後援会

その後のキャンパス見学は、後援会本部役員の方々に協力いただき、間もなく解体される55年館の511教室や58年館の庭園、ポアソナード・タワーのスカイホール、2年前には行かなかった外濠校舎の教室、富士見坂校舎、図書館などを見学。周りを歩いている学生に自分の子どもの姿を重ね、素晴らしい施設に感心しながら見て歩きました。

締めは、懇親会です。今回は念願の「屋形船」で開催し、後から合流した子どもたちも含めて、総勢41人で実施しました。特別参加で前応援団長も席に加わり、大変な盛り上がりで東京の夜を過ごしました。参加いただいた会員の皆さまには大変感謝しています。

最後に、一日中同行してくれた本部役員の方々に感謝申し上げるとともに、今後の支部後援会活動についても、一層のご支援ご協力いただきますよう、よろしくお願ひします。

## 郡山支部



郡山支部長 橋本 制一 (智恵美 / 法学部)

10月17日(土)に、郡山支部恒例の東京六大学秋季リーグ戦の野球応援とキャンパス見学を行いました。午前6時にバスに乗って郡山市を出発し、法政対早稲田大学戦を応援するために明治神宮野球場を目指しました。

プロ野球のクライマックスシリーズ開催のため、当初の予定の午前11時開始から30分早まるという情報が前日夜に入り、都内は雨という予報もあり、野球は開催されるのか、バスの到着は試合開始時刻に合うのか、やや不安なスタートとなりました。

結局、雨に見舞われたものの、試合は無事に開催されました。午前10時過ぎに球場に到着すると、後援会の今泉拓総務、鈴木聖子顧問が迎えに来てくれました。試合では、我が法政大学は最終的に2本のホームランを打ち、底力を発揮してくれました。

続いて、市ヶ谷キャンパスを見学しました。鶴巻義久副会長には、ポアソ

ナード・タワーの最上階を特別に開錠していただくなど、普段見学できない場所まで案内していただき、大変感激しました。また、図書館では、土曜日にもかかわらず、熱心に勉学に励む学生の姿に感動を覚えました。

見学後は近くで懇親会を開催し、総勢12人が和気あいあいと楽しかった一日を振り返ることができました。その後、特別チャーターのラウンジバスで帰途に就き、午後10時半には、無事に郡山に帰ることができました。

この野球観戦・キャンパス見学開催に当たり、後援会本部役員の方々に多大なる尽力をいただき、心より感謝申し上げます。



## 「箱根駅伝予選会」観戦記



福岡支部会計 石井 祐美子 (勇暉 / 法学部)

10月17日(土)に、国営昭和記念公園で第92回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)の予選会を観戦しました。当日は小雨が降ったり止んだりでしたが、スタート前から練り広げられていた応援合戦と、各校の色鮮やかなのぼり旗で、会場全体は熱気に包まれていました。

いよいよスタートすると、鍛え上げられた前途有望な学生が一齐にスタートし、人々の大きな声援の中で力を尽くし始めました。法政の選手であれ、他校の選手であれ、この命の輝きを、かけがえないもの、本当に愛おしいものを感じました。戦後70年に際して、田中総長が「学徒出陣」に思いを馳せていらしたことが心に浮かびました。

私たち後援会福岡支部からは、6人が観戦しました。スクールカラーであるオレンジのユニフォームが人垣の間から見えるたび、「法政、法政」と声の限

りに応援しました。選手の走りを目の当たりにした緊張感と臨場感はまた特別なものでした。

待ちに待った結果発表では、まず、10人通過順位は第5位。喜びの瞬間をとらえようと、報道各社のカメラも待ち構えていました。予選通過の期待が高まる中、第7位で見事に念願をかなえました。一緒に結果を聞いていた仲間たちから大きな歓声が上がりました。笑顔があふれました。来年の正月には、再びオレンジのユニフォームの活躍が見られます。

若者の命の輝きと、平和の中で、気持ちを共有することの素晴らしさを改めて感じた一日でした。



## 箱根駅伝・オレンジエクスプレスを沿道で応援しよう!

### 《箱根駅伝応援のご案内》

法政大学後援会スポーツ応援隊では、2016年1月2日(土)、3日(日)に開催される第92回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)の応援を企画しています。皆さまと一緒に、沿道をオレンジ色に染めて、選手たちに熱い声援を送りましょう。

応援場所は大手町から箱根までの各所に設定します。法政大学の「オレンジ色ののぼり旗」が目印です。詳しくは、法政大学後援会ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.hosei-koenkai.org/>

#### ■日時

2016年1月2日(土) 8:00 大手町スタート(往路)  
2016年1月3日(日) 8:00 芦ノ湖スタート(復路)

#### ■応援場所(予定)

大手町、蒲田、生麦、横浜駅、大磯、小田原、その他

皆さまの参加をお待ちしております。

